

# DHカフェ「学生部だより」

2017年 12月 VOL.35



## プロフェッショナルの現場

○本内 陽子さん

一般財団法人慈山会 医学研究所附属 坪井病院 勤務

私は一般歯科で長年勤務したのち、現在は坪井病院の歯科衛生士として勤務しております。主に入院患者さんの口腔ケア等を行っており、手術前後の口腔内のチェック、がん治療の化学療法や放射線治療に伴う口腔トラブルの緩和、セルフケアが困難な方のブラッシングなどを行っております。また、入院前の患者さんへ歯科受診を勧め、手術時に伴うリスクの軽減に繋がるよう努めております。

入院患者さんの口腔ケアは、一般歯科とは仕事の内容が全く異なり、チーム医療として、医師、看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士、管理栄養士などの多職種のスタッフで患者さんに関わり、全身の状態をみながらケアを行っております。

これからは病院での歯科衛生士の需要も増え、歯科衛生士の選択肢もどんどん広がって行くと思います。さらに、いろんな方との関わりも増えてきます。多くの知識を学ぶことはもちろん、人と人との繋がりも大切に、笑顔が素敵な歯科衛生士として活躍されることを陰ながら応援しています。



○古川 利枝さん

郡山市保健所 勤務

私は保健所に勤務しています。学生の頃は行政に勤務するという考えは微塵もありませんでしたが、臨床経験の中で「もっといろいろな世代の方々と関わりたい」という思いを抱き、行政で働きたいと思い始めました。

当初は臨床現場と180度異なる環境、業務に戸惑い、悩み、これでいいのか自問自答の日々でしたが、歯科衛生士会の皆様をはじめ、職場の他職種の方の応援や励ましのおかげで、今の自分があると思っております。

仕事をする中で感じることは「人と人のつながり」です。職場の方、地域住民の方、もちろん同業者である歯科衛生士の方、私はたくさんの「人」に助けられました。困った時、「人と人のつながり」ネットワークに何度救われたことか!!

学生の皆さん、

「これまで出会った人」「これから出会う人」は、

皆さんが困った時に、

そっと手を差し伸べてくれる人に違いありません。

「今」を大切に!

「人と人のつながり」を大切に!



○谷口 裕子さん

医療法人 生愛会 附属介護老人保健施設 生愛会ナースングケアセンター 勤務

福島県立総合衛生学院を卒業し、開業医に勤務しました。勤務先の医療法人が介護老人保健施設を開設するため開設準備から携わりその後、介護老人保健施設に勤務し現在に至ります。当時は、介護保険開始前で高齢者の口腔ケアはまだ認知されておりましたが、開設当初から入所者の口腔ケアに力をいれて実施してきました。

自分の学生時代を振り返れば、実習や記録に追われていましたが、勉強もそして遊びも一生懸命だったと思います。

高齢化社会となり、誤嚥性肺炎の予防に口腔ケアが着目され、全国の介護保険施設に歯科衛生士が配置される時代となり、歯科衛生士が必要とされています。

仕事に生き詰まった時に、もう一度机に座って学び直したいと思う時があります。

でもいくら、学生時代を懐かしんでも、

戻ることが出来ないのです。

今を一生懸命学びそして楽しんで下さい。

これから、皆様が歯科衛生士として活躍することを願っています。



○松本 美香さん

福島医療専門学校 勤務



私は歯科衛生士になって18年が経ちました。福島県立総合衛生学院を卒業し、一般歯科医院を2か所勤務した後、現在は福島医療専門学校で歯科衛生士の育成に携わっています。今はまだ、基本に返り学生と共に学んでいる状態ですが、今、歯科衛生士の基本となる部分をやり直していることは自分にとって良い機会だと思っています。口の健康は全身の健康につながります。現在歯科衛生士になるために頑張っている学生の皆さんは、これから先、一般歯科医院はもちろん、地域医療や介護の現場でもニーズが高まり活躍が期待される存在となっていきます。多くの知識、技術を習得することで幅広い視野を持ち、様々な場所で活躍できる歯科衛生士になってほしいと思います。

○高野 奈美さん

福島医療専門学校 勤務



私は病院歯科で勤務後、5人の子育てに専念するために、1度離職をし、子育てが落ち着いた今、再び歯科衛生士として何が出来るのかを考えた時にめぐり会えたのが歯科衛生士養成校の教員という職業でした。臨床現場との勝手の違いで初めは戸惑いもありましたが、先輩方の学生への向き合う姿勢、一人一人への心のケアや授業以外での学習サポートは広い知識の土台があってこそその指導であることを目の当たりにし、休職中のブランクを埋めるため、そして新たな挑戦のために学生の時以上に勉強の日々ですが充実した日々を送っています。

学生時代の国家試験前を振り返ると、時間が許す限り過去問題を解き、自身の得意不得意を明確にし、当日は100%の力で挑めるように勉強した記憶があります。試験終了後は合否への不安よりも全てを出し切った充実感がありその後合格へ至り、やった分だけ結果が付いてくのだと実感しました。

皆さんも試験当日に「もっとやっておけばよかった…」とならぬように同じ期間勉強するなら全力で!後悔が無いように目標達成のため頑張ってください。





# 医療体験セミナー

## ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業

日時：平成29年9月18日（月・祝）  
 会場：ピックパレットふくしま  
 主催：福島県教育委員会  
 目的：中学生段階から、医療関係の様々な仕事の紹介や体験を通して、医療に関する知見を広め、将来就きたい職種の具体化を図り、医療で人々を助けたいと願う子どもたちの夢の実現に向け後押しするとともに、本県の地域医療に貢献できる人材を育成することを目的とします。  
 参加者：県内在住中学生444名

### 《歯科衛生士体験ブース》



【綿栓・綿球作り体験】

悪戦苦闘しながらも器用に作成している中学生の目は真剣です。



【プロービング・術者みがき体験】

人工プラークを塗布後、チャレンジ!! ミラーの使い方に四苦八苦していました。



【口腔内カメラ体験】

歯の名前や萌出状況、歯肉炎について画面を見ながら説明。また歯科衛生士の仕事内容などを説明しました。



【学生ボランティアと組織委員】

学生ボランティアのお二人はとても気の利く方で、お姉さん的な存在でした。中学生も立ち寄りやすい雰囲気があり大変助かりました。

### 【感想：組織委員会】

本会として初参加となった医療体験セミナーは、県内中学生を対象に盛大に行われました。歯科衛生士の存在は知っているものの、国家資格であること、養成機関で3年以上の修業が必要なこと、仕事内容などを知らない学生が多く、とても興味を持って聞いていただきました。「プロービング・術者みがき」のコーナーは順番待ちの列ができるほどの人気で開催時間約2時間半があっという間に過ぎ、体験を断念した中学生もいて来年に向けての課題が残りました。組織委員会としては、歯科衛生士人口を増やすきっかけとなるイベントに参加させていただいたことは将来に期待が持て、大変有意義な時間でした。



# 緩和ケアにおけるアロマの効果



アロマセラピーアドバイザー  
アロマヒーリングセラピスト  
歯科衛生士 熊谷順子

植物の命がぎゅっとなつた香りの物語。一滴の精油からアロマの世界が始まります。数年前からアロマの可能性を感じて、緩和病棟を中心にアロマを取り入れていきました。精油がもっている香りの力はとてもパワフルに感じられます。最近はいい香りを「嗅ぐ」だけで、重度の認知症患者の症状が改善させたり、ガンによる疼痛が和らぐと言われていました。これからも患者の不安緩和やリラクゼーションを目的にアロマを取り入れていきたいと思っています。

## 学生の皆さんにおすすめ 試験の前日のアロマセラピー

～アロマの香りを上手に活用して、コンディションを整えて本番に臨みましょう～

### 【入浴】

オレンジスイート 2滴  
ラベンター 2滴  
天然塩 大さじ1

→精神リラックス

### 【芳香浴】

レモン 3滴  
ローズマリー 2滴  
バジル 1滴

→思考回路をクリア

### 【ハーブティー】

ローズヒップ  
ラベンダー  
カモマイル・  
ジャーマン

→リフレッシュ・  
リラックス

発行/一般社団法人 福島県歯科衛生士会  
組織委員会  
〒960-8015 福島市仲間町6-6  
福島県歯科医師会館内

